

<h2>1 総人口</h2>		基準: 各年10月1日現在 出典: 県統計課「福島県の推計人口(福島県現住人口調査)」
◎前年比 -0.56% 17年連続減	◎震災前比 H26=95.4 (H22=100.0)	
○人口減は震災前から続いており、震災時には減少幅が拡大。 ○震災後は減少幅が徐々に緩やかになっている。 ○減少幅の縮小は、社会動態の改善によるものとみられる。		
<h2>2 合計特殊出生率</h2>		基準: 暦年 出典: 厚生労働省「人口動態統計」
◎前年比 +0.05% 2年連続増	◎震災前比 H26=103.9 (H22=100.0)	
○平成25年に上昇に転じ、震災前の水準へ回復。 ○さらに平成26年は1.58となり全国9位、東日本では1位の高水準へ上昇。 ○前年からの上昇幅は、平成25年に+0.12、平成26年に+0.05となり、2年連続で全国最大。		
<h2>3 里帰り出産件数</h2>		基準: 年 出典: 福島県産婦人科医会業務資料 平成20年から継続回答している25機関において扱った件数
◎前年比 +2.7% 2年連続増	◎震災前比 H26=74.4 (H22=100.0)	
○震災前の平成22年は2,290件だったところ、平成24年に震災前の約5割まで落ち込んだ。 ○平成25年からは回復をみせ、平成26年は1,704件となり、2年連続の増加となっている。		
<h2>4 県内総生産(名目)</h2>		基準: 年度 出典: 県統計課「福島県県民経済計算」(確報、平成25年度は早期推計)
◎前年度比 +6.9% 2年連続増	◎震災前比 H25=104.3 (H22=100.0)	
○平成24年度の経済成長率は全国2位。 ○平成25年度の速報値は7兆2,776億円となり、震災前を上回った。 ○建設業が震災前の2倍に伸びたことが大きく影響。 ○製造業や電気・ガス・水道業も、全体を押し上げた。		
<h2>5 一人あたり県民所得</h2>		基準: 年度 出典: 県統計課「福島県県民経済計算」(確報、平成25年度は早期推計)
◎前年度比 +8.7% 2年連続増	◎震災前比 H25=110.9 (H22=100.0)	
○平成24年度の増加率は全国1位。 ○平成25年度の速報値は283万3千円となり、2年連続で増加。 ○県内総生産の回復に伴い、民間法人企業所得が大幅増となったことが主な要因。		

<変化方向について>

緑:良い動き 赤:悪い動き 黄:横ばい で表示。

※逆向き指標(企業倒産件数等)が減少した場合、下向きかつ緑(良い動き)の矢印となる。

<h3>6 看護学校卒業者の県内就業率 New!</h3>	<p>基準:年度 出典:厚生労働省「看護師等学校養成所入学状況及び卒業生就業状況調査」看護師3年課程(短大・大学を除く)卒業生の就業状況結果</p>
<p>◎前年度比 +6.0ポイント 3年連続増 </p> <p>◎震災前比 H27=112.5 (H22=100.0) </p>	<p>(%) (人)</p>
<p>○県内の看護学校卒業者は徐々に増加している。 ○卒業後の看護師の県内就業率は、震災後に下降したが平成25年度から上昇に転じている。 ○平成27年度は前年度から大きく上昇し、83.5%となった。</p>	<p>基準:年度 県内で施工される建設工事の発注機別別計 (公共機関・民間(土木・機械装置等):1件500万円以上、民間(建築等):1件5億円以上) 出典:国土交通省「建設工事受注動態統計調査報告」</p>
<h3>7 建設工事受注高</h3> <p>◎前年度比 -2.7% 4年振り減 </p> <p>◎震災前比 H26=480.3 (H22=100.0) </p>	<p>(億円) (前年度比:%)</p>
<p>○平成23年度は前年度の195.3%となり、以後も復旧工事が本格化するにつれ増加し、平成26年度は1兆1,061億円となった。 ○特に公共機関発注工事は、平成26年度に8,276億円となり震災前の647%へ増加している。</p>	<p>基準:年 出典:農林水産省「水産加工統計調査」、「2013年漁業センサス」 平成26年は速報値 単位の異なる焼・味付のりを除く</p>
<h3>8 水産加工品生産量 New!</h3> <p>◎前年比 +6.5% 2年振り増 </p> <p>◎震災前比 H26=72.9 (H22=100.0) </p>	<p>(t) (前年比:%)</p>
<p>○本県内の加工施設で生産された水産加工品の生産量は、平成23年に前年比約△50%の大幅減となった。 ○翌年から水産物漬物等の「食用加工品」の生産が増加したことにより、平成26年は震災前の7割まで生産量が回復してきている。</p>	<p>基準:年 出典:国土交通省「土地取引規制基礎調査概況調査」(平成27年8月現在)</p>
<h3>9 土地取引面積・件数 New!</h3> <p>◎前年比 面積 +61.6% 件数 +1.1% 3年連続増 </p> <p>◎震災前比 面積 H26=214.2 件数 H26=130.7 (H22=100.0) </p>	<p>(面積: ha) (件数: 件)</p>
<p>○登記情報に基づく土地取引状況については、平成23年に取引面積・件数ともに前年を下回ったが、翌年以降は増加が続いている。 ○大口取引の増加により、面積は平成26年に震災前の214.2%まで増加した。</p>	<p>基準:年度 出典:県エネルギー課業務資料</p>
<h3>10 太陽光発電購入容量 New!</h3> <p>◎前年度比 +125.2% 12年連続増 </p> <p>◎震災前比 H26=951.5 (H22=100.0) </p>	<p>(kW) (前年度比:%)</p>
<p>○増加傾向にある中、震災後は助成制度の拡充等によりさらに増勢が強まっている。 ○平成25年度からは2年連続で前年度比125%超の大幅増加が続き、平成26年度は平成22年度の951.5%となっている。</p>	

各指標の詳細なデータについては、出典元の各統計をご覧ください。